



丹波市の魅力いっぱいのカレンダーを発売

3月12日、丹波市観光アンバサダーの新木宏典^{ひろふみ}さんが、丹波市の風景などを掲載した「新木宏典×カレンダーブック 2026.04-2027.03」の発売を市長に報告しました。新木さんは、「ファンの人が見て丹波市を訪れるきっかけになってほしい。各ページ下の丹波の豆知識は自分も知らないものが多かったので、丹波市の人も楽しんでもらえると思う」と笑顔で話しました。



14期生による丹波布伝承館創作展

3月7日から20日まで、丹波布伝承館で丹波布第14期生新人創作展が開催されました。7人の新人の伝習生の2年間の学びの集大成として、それぞれが制作した^{たんばもの}反物や日常づかいの小物などが会場一面に展示されました。訪れた来館者はゆっくりと作品の鑑賞を楽しんでいました。

Machikado - Topics

まち☆とび



障がい者支援と地域貢献に感謝状

パナレーサー株式会社に市から障害者雇用優良事業所感謝状が贈呈されました。大和電一代表取締役社長は、「障がいの有無、性別、年齢、国籍にかかわらず多様性を尊重してきた。さまざまな価値観のある人たちが一つの目的に向かうと、組織が強くなると実感している。今後も働きやすい職場づくりを発展させていきたい」と語りました。



旧山南中学校の利活用が決定

兵庫パルプ工業株式会社^{パルプ}が旧山南中学校の利活用者に決定し、3月23日に報告会が行われました。市との「災害時における物資調達に関する協定」も締結され、井川直樹代表取締役専務は、「地域資源を活かした新たな価値や雇用の創出につなげていきたい。災害時には段ボールベッドなどを要請に応じて迅速に届けたい」と話しました。



三輪小学校・吉見小学校が閉校

3月28日、三輪小学校と吉見小学校の閉校式が行われました。会場には、児童や教職員、保護者のほか、卒業生や地域の人たちが集まり、全員で校歌を斉唱するなど、思い出がたくさんつまった学び舎に感謝を伝えました。閉校式の後には、それぞれの地域で閉校記念イベントが行われ、参加者の笑顔で溢れました。

[三輪小学校]

①三輪小学校閉校式の出席者たち、②オープニングで「わたしたちの宝 ふるさと美和」の発表を行う児童たち、③片山教育長に校旗返納を行う芦田校長と児童代表の荻野修士さん

[吉見小学校]

④吉見小学校閉校式の出席者たち、⑤オープニングで金管バンドの演奏を行う児童たち、⑥片山教育長に校旗返納を行う谷川校長と児童代表の宮内日野花さん



企業版ふるさと寄附金に感謝状

企業版ふるさと納税制度を活用した、三立製菓株式会社による市への寄附に対し、3月26日、市長から感謝状が贈られました。清水康光代表取締役社長は、「若者が丹波市に残り、ここで働きたいと思ってほしいと考え、今回寄附を行った。丹波市が住みよいまちになるように今後も協力していきたい」と語りました。



ジャイカ JICA 海外協力隊派遣でパナマへ

3月24日、丹波市出身の足立来嵐さんが、JICA 海外協力隊の一員としてパナマへ派遣されるにあたり、市長を表敬訪問しました。足立さんは、「体育教師として派遣されるが、現地では学校だけでなく、地域でもスポーツ活動の普及に努めたい。また、日本の文化も伝えていきたい」と意気込みを語りました。

